



かわば福祉

No. 66

2020年
7月15日発行

社会福祉法人 川場村社会福祉協議会

〒378-0101 群馬県利根郡川場村大字谷地3086番地1
e-mail:kawaba-shakyo@po.kannet.ne.jp
TEL (0278) 50-1122 FAX (0278) 50-1123

ホームページアドレス
<http://www.kawaba-shakyo.jp>



QRコード

思いやりや人と人とのつながり、故郷への愛着などを醸成することで、みんなが協力し合い支え合える地域づくりを推進し、村民の誰もが安全で安心して暮らせる川場村を目指します。



誰もが安心していきいきと暮らせるむら
かわば

社協のおもな業務内容

- ① 会務の運営
- ② 社会福祉の推進
- ③ ボランティアセンターの運営
- ④ 協議体の事務局・生活支援コーディネーターの受託
- ⑤ 福祉対策の推進
- ⑥ 介護保険事業
- ⑦ 在宅福祉事業の推進
- ⑧ 民生・児童委員協議会との連携強化

この広報誌は、赤い羽根募金の助成を受けて発行しています。



令和元年度事業報告・決算報告

◆介護保険事業

- *訪問介護(ホームヘルプ)事業
 - ・年間延べ利用者2,063人 一日平均 5.73人
- *介護予防・日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス)事業
 - ・年間延べ利用者 346人 一日平均 0.96人
- *通所介護(デイサービス)事業
 - ・年間延べ利用者6,360人 一日平均20.58人
- *介護予防・日常生活支援総合事業(通所介護相当サービス)事業
 - ・年間延べ利用者1,123人 一日平均 3.63人
- *居宅介護支援(ケアマネジメント)事業
 - ・年間延べ利用者 745人 月平均62.08人

◆福祉有償運送事業

- ・元年度利用状況：487件

◆川場村老人デイサービスセンターの指定管理

◆要介護認定調査の受託

- ・川場村・村外市町村

◆在宅福祉事業の受託

- ・独居高齢者等配食：416食(毎週火曜日・金曜日)
- ・独居高齢者保養交流事業(秩父神社と長瀬ライン下り：25名参加)
- ・在宅介護者の集い：3回 52名参加
- ・生活支援事業及び軽度生活援助事業
- ・介護予防教室事業：ほっこり教室(月2回開催：年22回)343名参加

◆ボランティア活動の促進

◆災害救助

- ・都県・指定都市社協災害協定に基づく災害救援職員派遣

◆民生・児童委員協議会との連携

◆共同募金事業

- ・赤い羽根募金、歳末たすけあい募金事業
- ・歳末たすけあい募金配分事業
- ・ふれあい・いきいきサロン事業への活動支援
- ・ひとり暮らし高齢者交流事業・見守り活動の実施

【決算報告】

資金収支決算内訳					単位：円
事業活動による収支	勘定科目	決算額	勘定科目	決算額	
		会費収入	948,500	人件費支出	96,584,710
	寄附金収入	241,595	事業費支出	14,058,170	
	受託金収入	28,407,352	事務費支出	4,836,717	
	事業収入	104,980	共同募金配分金事業費	2,473,000	
	介護保険事業収入	86,981,620	その他の支出	7,610	
	受取利息配当金収入	752			
	その他の収入	2,572,860			
	収入計	119,257,659	支出計	117,960,207	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	804,000	固定資産取得支出	1,317,560	
	収入計	804,000	支出計	1,317,560	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	69,531	積立資産支出	245,001	
	収入計	69,531	支出計	245,001	
	収入合計	120,131,190	支出合計	119,522,768	
	当期資金収支差額合計			608,422	

【事業報告】

◆会務の運営

- ・会員加入状況

世帯数	納入世帯	納入割合	特別会員
1,074	939	87.43%	1件

- ・理事会・評議員会開催状況
理事会：4回 評議員会：3回 監査：3回

◆社会福祉の推進

- ・福祉バザー実施(11月3日)
寄付物品：967点 売上金：123,690円
募金：3,028円
- ・広報誌「かわば福祉」発行(7月、11月、2月)
- ・各種研修会の開催

◆生活支援体制整備協議体の運営

- ・生活支援コーディネーターの受託
- ・会議・視察研修(2回)
- ・公共交通及び高齢者等交通弱者の移動手段についての検討会議
- ・高齢者世帯等閉じこもり予防事業(9回)
- ・居場所づくり(歩いて行ける居場所、村全体での居場所)(4か所)
- ・こども園との交流会並びにふれあい昼食会
- ・「救急の適正利用について」利根沼田広域消防署研修会
- ・「高齢者が安全に自動車の運転を続けるために」沼田警察署・富士スバル
- ・地域の課題やニーズの把握・解決のために現地調査・関係機関との連携

◆ボランティアセンターの運営

- ・啓発活動(ボランティア登録者：40名)
- ・生活支援サービスマッチング事業
- ・ボランティア活動育成事業
- ・除雪支援
- ・会議並びに研修会の開催

◆福祉対策の推進

*高齢者福祉

- ・慶祝訪問、慶祝品の贈呈
- ・クリスマスプレゼント、誕生日プレゼントを届け、見守り活動
- ・ひな祭り配食の実施

*児童福祉

- ・小学校・中学校の福祉活動へ助成

*障害者福祉

*母子福祉

- ・クリスマスプレゼント、中卒者への激励、若年母子・父子家庭の集いの開催

*低所得者対策

- ・生活困窮者自立支援事業
- ・生活福祉資金制度の相談

*権利擁護事業への対策

- ・基幹社協と連携し日常生活自立支援事業の支援体制の推進

*ボランティア団体の活動促進

*福祉団体活動支援

*戦没者遺族の援護

*地域包括支援センターとの連携

令和2年度事業計画・予算

【事業計画】

【予算】

①会務の運営

- * 理事会、評議員会、監事会の開催
- * その他の必要と認められた連絡会議の開催
- * 経営基盤の強化や透明性の確保
- * 安定的な運営の促進
- * 資質向上のための職員研修会及び運営検討会議等の開催

②社会福祉の推進

- * かわば福祉広報の発行(年3回)
- * 各種研修会の開催
- * 社協ホームページの活用
- * 村内の社会福祉法人と連携・協働した社会貢献活動の実施
- * 群馬県ふくし総合支援事業の実施

③ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの機能強化と活動を推進し、人材の育成・発掘を目指します。

- * ボランティアセンターの広報・啓発の推進
- * 住民の積極的なボランティア参加・地域活動の推進
- * 行政と連携した災害ボランティアセンターの設置・運営に向けた体制整備の推進
- * ボランティア連絡協議会との連携 など

④協議体の事務局

生活支援コーディネーターの受託

地域の多様な団体と連携を図り、地域課題の解決を目指します。その中で活動同士のつながり、見守り活動、趣味や体操等による居場所づくりなど、川場村ならではの支え合いの仕組みづくりをできる範囲で考えていきます。

- * 生活支援(移送サービス)の新たな体制整備の推進
- * 外出支援・聞ここもり予防事業の実施 * 除雪支援の体制づくりに向けた取り組みの推進 など



令和元年度撮影

⑤福祉対策の推進

小学校、中学校の福祉活動に助成し、福祉体験学習や高齢者との交流を通して福祉教育の推進を目指します。

- * 高齢者福祉 * 児童福祉 * 障害者福祉 * 母子福祉 * 低所得者対策 * 権利擁護事業への対応
- * ボランティア団体の育成 * 共同募金運動 * 地域包括支援センターとの連携



平成30年度撮影

⑥介護保険事業

法令を遵守しながら要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した生活ができるよう、介護サービス提供を目指します。

- * 訪問介護事業、総合事業(訪問型サービス) * 通所介護事業、総合事業(通所型サービス)
- * 居宅介護支援事業 * 要介護認定調査の受託(村・村外市町村) * 予防居宅介護支援事業の受託
- * 福祉有償運送サービス * 通所介護施設「川場村老人デイサービスセンター」の指定管理



⑦在宅福祉事業の推進(受託事業)

- * 一人暮らし高齢者等配食サービス事業 * 一人暮らし高齢者交流事業
- * 生活支援事業及び軽度生活援助事業 * 家族介護者支援事業(在宅介護者の集い)
- * 介護予防教室事業(ほっこり教室)
- * 福祉団体活動支援
 - ・老人クラブ ・遺族の会 ・更生保護女性会 ・身障連川場分会
 - ・手をつなぐ親の会 ・ボランティア団体 など



令和元年度撮影

⑧民生・児童委員協議会との連携強化

資金収支予算内訳					単位：円
事業活動による収支	勘定科目	予算額	勘定科目	予算額	
		会費収入	950,000	人件費支出	92,955,000
	寄附金収入	300,000	事業費支出	15,819,000	
	経常経費補助金収入	2,229,000	事務費支出	7,608,000	
	(村補助金収入)	(3,000)	共同募金配分金事業費支出	2,221,000	
	(共同募金配分金収入)	(2,226,000)	助成金支出	1,000	
	受託金収入	28,986,000			
	(県受託金収入)	(222,000)			
	(村受託金収入)	(28,604,000)			
	(村以外受託金収入)	(160,000)			
	事業収入	262,000			
	介護保険事業収入	86,920,000			
	(居宅介護料等収入)	(63,284,000)			
	(居宅介護支援介護料収入)	(11,541,000)			
	(介護予防日常生活支援総合事業収入)	(8,331,000)			
	(利用者等利用料収入)	(3,764,000)			
	受取利息配当金収入	5,000			
	その他の収入	26,000			
	収入計	119,678,000	支出計	118,604,000	
			事業活動資金収支差額	(1,074,000)	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入		固定資産取得支出		
	収入計	0	支出計	0	
その他の活動による収支			積立資産支出	1,034,000	
	収入計	0	支出計	1,034,000	
			その他の活動資金収支差額	(△1,034,000)	
予備費				40,000	
	収入合計	119,678,000	支出合計	119,678,000	

高齢者世帯等閉じこもり予防事業 ～みんなで出かけませんか？～

外出の機会が少なく、閉じこもりがちな高齢者世帯を対象に外出事業を実施します。

期 日
7月29日(水)
8月31日(月)
9月24日(木)
10月28日(水)
11月26日(木)
12月24日(木)
1月27日(水)
2月25日(木)
3月29日(月)



令和元年度撮影

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容の変更・中止する可能性があります。

時 間 午前9時30分～14時30分頃帰宅(行き先により時間の変更あり)

- 対象者**
- ① 自動車の運転ができない方(世帯)(運転免許証返納者など)
 - ② 要介護(支援)認定を受けてない方(世帯)
 - ③ 事業の参加が必要と思われる方(世帯・日中独居を含む)

詳しくは▶ 社会福祉協議会にお気軽にお問い合わせください。☎50-1122

kawaba組



Kawaba組では、誰でも気軽に参加できる集いの場を企画しています。脳トレーニングを中心とした囲碁・将棋・麻雀・オセロゲームの他に卓球も行っています。

参加者主体となって、いつまでも元気で暮らせるよう、しゃべって動いて楽しく健康づくりしませんか。

日時

毎月第2第4火曜日

13時30分～16時30分

場所

川場学童クラブ内



“居場所づくりの活動を支援します”

共同募金会では、地域の在宅福祉の充実のため住民同士による語らいの場である、地域の居場所づくりの推進を目的に閉じこもり予防や認知症予防を行うとともに心身の健康の保持や生きがいづくり、仲間づくりの居場所を支援します。

歳末たすけあい募金配分金から身近な地域の居場所に対して活動費を配分します。

対 象 村内で活動する自主グループによる居場所(高齢者、障がい者、子育て世代など)

配分限度額 1グループあたり、1万6千円(年間)以内

* 随時、受け付けています。なお、詳しいことは、共同募金会川場村支会(社会福祉協議会内)までお問い合わせ下さい。☎50-1122

更生保護女性会

“社会を明るくする運動”

7月は“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～強化月間です。

川場村更生保護女性会では保護司とともに村長、教育長、小学校、中学校、駐在所を訪問し、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くための啓発活動を行いました。



一般介護予防教室 「ほっこり教室」

川場村社会福祉協議会では、川場村の委託を受けて今年度も6月から毎月2回開催しています。今年度は新型コロナウイルス拡散防止の取り組みにより4月、5月については教室はお休みしていましたが、6月8日(月)から再開になりました。新たな参加者6名も加わり総勢19名となりました。元気に楽しみながら要介護状態にならないように、筋トレ・脳トレ・口腔体操・栄養等の専門家からの指導も含めて、介護予防につなげられるように実施致します。

ご興味のある方はぜひ見学や教室ご参加下さい。お待ちしております。

対象者 65歳以上の要介護認定を受けていない方



お問い合わせ先：川場村地域包括支援センター☎50-1425 川場村社会福祉協議会☎50-1122

居宅介護支援事業所のご案内

居宅介護支援事業所では、ご本人・ご家族の方の依頼により、介護保険に関わる以下の業務を3名のケアマネージャーにより適切かつ迅速な対応をさせていただいております。費用はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

- 1 介護に関わるご相談、要介護申請の手続き代行
※介護保険の仕組みや色々な介護保険の説明をします。
介護に関してお困りな方…電話による介護相談も受け付けています。
- 2 ケアプラン(居宅介護サービス計画)の作成
利用者の状態に合わせた介護サービスのご提案
※ケアプランとは、どのような介護サービスを利用するかを決める計画書のことをいいます。
ケアプランの実施状況や効果の確認
- 3 介護サービスを提供する居宅サービス事業者及び介護福祉施設との連絡調整
- 4 市町村、保険医療福祉サービス機関との連絡調整
- 5 居宅サービス利用時の苦情や疑問の受付対応

営業日
月曜日～金曜日
(祝祭日・年末年始を除く)

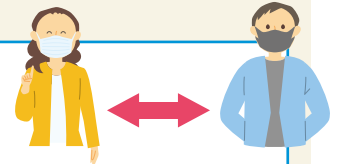
営業時間
8時30分～17時15分

訪問エリア
川場村：沼田市

お問い合わせ先
☎50-1122
川場村社会福祉協議会



● ボランティアセンター情報掲示板 ●



ボランティア活動についてのおねがい

5月14日より新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う非常事態宣言が解除されました。しかし、現在も新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、状況を見極めて活動することが求められています。またボランティア活動中においても、下記の事項にご協力ください。

～3つの密を避けましょう～

- 1 換気の悪い“密”閉空間 2 多数が集まる“密”集場所 3 間近で会話や発声をする“密”面場面

～諸注意～

- マスクの着用や頻繁な手洗いをお願いします。
- 発熱や悪寒、咽頭痛、咳など風邪のような症状がある場合は活動をお控えください。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

ボランティア募集中

ボランティアセンターでは、下記の事業についてご協力いただける方を募集しています。

配食ボランティア

週2回(火・金)村内の対象者さんのご自宅へお弁当を届け、併せて安否確認などを行っていただきます。

高齢者世帯等閉じこもり予防事業

参加者の傾聴、外出先での見守りなど行っていただきます。日程については、5ページをご参照ください。

ご都合の合う日にちのみでも構いません。ご協力いただける方は、ボランティアセンターにお問い合わせください。

生活支援サービスマッチング事業

ボランティアセンターを通して、ボランティアさんに日常生活でのちょっとした困りごと(電球交換、掃除、衣類整理、ごみ出しなど)をお願いしてみませんか?

利用できる人(村内在住者)

- 概ね65歳以上で援助を必要とする方
- 心身に障がいを持ち援助を必要とする方
- その他の事情等により援助を必要とする方など

詳しくはボランティアセンターに
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 ☎50-1122 ボランティアセンター